


令和元年度進行管理・評価シート
甘楽町歴史的風致維持向上計画（平成22年3月30日認定）
（最終変更平成31年3月18日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画推進に向けた庁内の連携体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 景観形成助成金の交付	2
2 景観計画の活用	3
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 織田氏七代の墓整備事業	4
2 高質空間形成施設(照明施設等)整備事業	5
3 町道整備事業(楽山園周辺道路整備事業)	6
4 高橋氏屋敷保存・修理事業	7
5 旧甘楽社小幡組倉庫整備事業 (旧小幡組製紙レンガ造り倉庫)	8
6 山田家の喰い違い郭整備事業	9
7 有賀茶店保存修理事業	10
8 雄川堰整備事業	11
9 歴史まちづくり(歴史・文化・景観)講習会	12
10 歴史的まちなみ調査事業	13
11 案内板等整備事業	14
12 名勝楽山園周辺修景整備事業	15
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存・防災・防犯	16
2 文化財の普及・啓発	17
3 重点区域における伝統的建造物群保存 地区制度の導入に向けた取組み	18
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 光で染まる楽山園 ほか	19,20
⑥その他(様式1-6)		
1 施設整備後の活用と歴史文化啓発に 関する事業	21

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	22
--------------------------------	-------	----

評価軸①-1 組織体制		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
計画推進に向けた庁内の連携体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	甘楽町歴史的風致維持向上計画推進会議及び同計画推進プロジェクトチーム、各事業者との連携を図りながら適切に計画を推進する。計画掲載事業の進捗状況の確認、評価を行い、定期的な報告、意見の聴取等を実施し、実効性を高めるとともに、必要に応じた計画変更を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
建設課、産業課、企画課及び社会教育課からなる甘楽町歴史的風致維持向上計画策定委員会・専門部会及び庁内各部署からの意見聴取により事業の進捗管理・評価及び2期計画について協議を行った。特に重点区域内で実施されている事業並びに今後実施が予定される事業については、まち歩きを実施しながら町の歴史的風致の維持及び向上のための施策への理解と今後の事業展開に対する提案のとりまとめを行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	2期計画についても、各部署との連携・調整、庁内横断的な意見聴取による体制強化を図っていく。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>組織体制(H31.4)</p> <p>【企画課】 企画調整係:3名</p> <p>【建設課】 まちづくり推進室:1名 都市計画係:3名 建設係:3名</p> <p>【産業課】 商工観光係:4名</p> <p>【社会教育課】 文化財保護係:3名</p> <p>【その他部局】 行政、財政担当ほか</p> </div>			
		<p>甘楽町歴史的風致維持向上計画に係る会議等開催状況</p> <p><2期計画調整会議> 第1回 令和元年7月22日 ・1期計画の事業実施箇所及び2期計画の実施事業について等 第2回 令和元年8月15日 ・2期計画の実施事業について等</p> <p><策定委員会専門部会> 令和元年12月23日 ・2期計画(案)について</p> <p><推進協議会> 令和2年1月24日 ・2期計画(案)及び1期計画最終評価について</p>	
<p>■ 推進協議会(R2.1.24)</p>			

評価軸②-1 重点区域における良好な景観を形成する施策		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
景観形成助成金の交付		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	当町では平成元年9月に「甘楽町ふるさと景観をまもり、そだて、つくる条例」を制定し、歴史と伝統の特色を活かした景観保存を住民とともに推進してきた。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「甘楽町ふるさと景観をまもり、そだて、つくる条例」の規定によるふるさと景観の形成のための事業に対して、助成を行った。 令和元年度 申請件数2件、助成額363,333円			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
<p>■勘定奉行役宅高橋家庭園 勘定奉行役宅高橋家の庭園を通年で観光客に無料開放を行い、中小路に面した歴史的建造物や庭園等の景観維持を図った。</p>			
			
<p>■山田家の喰い違い郭 大奥の庭園及び喰い違い郭を通年で観光客に無料開放を行い、中小路及び御殿前通りに面した歴史的遺構や庭園等の景観維持を図った。</p>			

評価軸②-2
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	年度
景観計画の活用		現在の状況
		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 当町は、平成元年9月に「甘楽町ふるさと景観をまもり、そだて、つくる条例」を制定し、都市景観の形成に努めている。また、平成22年9月に景観行政団体に移行し、平成23年3月には景観法に基づく景観計画を策定し、歴史的風致の維持及び向上に資する施策を講じている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本町の景観に大きな影響を及ぼすと考えられる、一定規模以上の建築行為等を行う場合に、行為の着手前に計画内容に関する届出を行ってもらい、景観計画で定める「景観形成基準」に適合しているかどうかの審査を行っている。
 令和元年度 届出件数 3件




進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

※代表的な基準を以下に示します

区分	基準の内容																																						
建築物の建築等/工作物の建設等	配置位置 主要な眺望点からの山並みや自然景観への眺望を阻害しない配置とすること。 周囲の町並み、家並み、田園等と調和するように配置すること。																																						
	形態意匠 高さの最高限度を20m(6階建て程度)とする。(ただし町長が認める場合はこの限りではない) 周辺の建物と統一感を持たせ、連続性のある町並み形成に努めること。 大面積に具象な絵柄や必然性のないデザイン、華美な装飾を施さないようにすること。																																						
	材質 経年変化で味わいの増す自然素材(石、木材、レンガ等)を積極的に活用すること。 洗剤のある材料や反射光の生じる素材を大部分にわたって使用することは避けること。																																						
	色彩 外観の色彩は以下のとおりとする。ただし、着色していない木材、土壁、ガラス等の材料によって仕上げられる部分の色彩、または見付面積の1/10未満の範囲内で外観のアクセント色として着色される部分の色彩についてはこの限りでない。																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3"><壁面(屋根以外)></th> <th colspan="3"><屋根></th> </tr> <tr> <th>色相</th> <th>彩度</th> <th>明度</th> <th>色相</th> <th>彩度</th> <th>明度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R(赤)</td> <td>4.0以下</td> <td></td> <td>R(赤)~Y(黄)</td> <td>4.0以下</td> <td rowspan="5">5.0以下</td> </tr> <tr> <td>YR(黄赤)</td> <td>6.0以下</td> <td>2.0以上 9.0以下</td> <td>YR(黄赤)</td> <td>6.0以下</td> </tr> <tr> <td>GY(黄緑)</td> <td>1.5未満</td> <td></td> <td>GY(黄緑)</td> <td>2.0以下</td> </tr> <tr> <td>~RP(赤紫)</td> <td>1.5以上 2.0以下</td> <td>2.0以上 7.0以下</td> <td>~RP(赤紫)</td> <td>2.0以下</td> </tr> <tr> <td>無彩色(N)</td> <td>—</td> <td>2.0以上 9.0以下</td> <td>無彩色(N)</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	<壁面(屋根以外)>			<屋根>			色相	彩度	明度	色相	彩度	明度	R(赤)	4.0以下		R(赤)~Y(黄)	4.0以下	5.0以下	YR(黄赤)	6.0以下	2.0以上 9.0以下	YR(黄赤)	6.0以下	GY(黄緑)	1.5未満		GY(黄緑)	2.0以下	~RP(赤紫)	1.5以上 2.0以下	2.0以上 7.0以下	~RP(赤紫)	2.0以下	無彩色(N)	—	2.0以上 9.0以下	無彩色(N)	—
	<壁面(屋根以外)>			<屋根>																																			
色相	彩度	明度	色相	彩度	明度																																		
R(赤)	4.0以下		R(赤)~Y(黄)	4.0以下	5.0以下																																		
YR(黄赤)	6.0以下	2.0以上 9.0以下	YR(黄赤)	6.0以下																																			
GY(黄緑)	1.5未満		GY(黄緑)	2.0以下																																			
~RP(赤紫)	1.5以上 2.0以下	2.0以上 7.0以下	~RP(赤紫)	2.0以下																																			
無彩色(N)	—	2.0以上 9.0以下	無彩色(N)	—																																			
屋外設備等 屋外設備を設置する場合は、道路・鉄道からできるだけ見えない位置に設置すること、やむを得ず屋外設備等が見える場所に設置する場合は目立たないよう工夫すること。																																							
外構 駐車場等 敷地内では、地域の景観形成にとって適切な樹木や草花による緑化を図り、周辺環境の向上に努めること。 駐車場やサービスヤード、ごみ置き場等は、植栽などの工夫により、内観が道路側から目立たないようにすること。																																							
木竹の伐採 (林業に関わる行為以外) 木竹の伐採にあたっては、周辺景観への影響を配慮して検討を行うこと。 樹木の種類、樹齢、樹形等の蓄積を調査し、木竹の伐採を検討すること。																																							
土石の採取等における土地の形質の変更 土石の採取等については、道路等の公共空間から容易に望見できないよう掘削位置及び方法を工夫すること。 土石の採取後は、既存の植生又は周囲の植生、地域の自然植生と調和した緑化を行い、自然環境及び景観の復元に努めること。																																							
屋外における土砂・廃棄物・再生資源その他の物件の堆積 長年に亘り土砂、廃棄物、再生資源等の堆積は行なわないこと。 堆積を行う場合、道路・鉄道から堆積物が見えないよう配置を工夫すること。それが困難な場合は、植栽や塀を設け、積み上げ高さを低く抑える等の配慮を行うこと。																																							

■甘楽町景観計画 景観形成基準

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
織田氏七代の墓整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成28年度～令和元年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(H27～R1:都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	織田氏七代の墓は、城下町小幡の歴史やまちの成り立ちを知る上で重要な場所である。しかし現状では、墓周辺はほとんど整備がなされておらず、景観的にも煩雑な状況となっている。 当該エリアを「織田公公園」として整備することで、町指定文化財である織田氏七代の墓の活用と周辺の良い景観形成が図られる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和元年度は、主に織田氏七代の墓御霊屋整備、植栽工事、電柱移設、四阿整備を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	指定史跡である織田氏七代の墓の風致を損なわない公園の整備ができた。 2期計画では、園内の林内整備を行い、よりよい景観形成に努めていく。		
状況を示す写真や資料等			
			
■ 事業着手前		■ 整備後	
			
■ 整備計画図			

評価軸③-2 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
高質空間形成施設(照明施設等)整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～令和元年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	雄川堰とともに歴史的建造物が数多く保存されている町屋地区は、「小幡八幡宮例大祭」の舞台となる。町道上町東側・下町東側線の景観を阻害している電柱や電線類等の地中化を推進するとともに町道・雄川堰(大堰)の照明整備を行い、往来する人々の回遊性及び景観の向上を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成25年度において群馬県により雄川堰沿いの県道敷側に照明施設を設置し雄川堰のライトアップ等により景観の向上に寄与している。 令和元年度については、実績なし。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	無電柱化については、2期計画で実施予定		
状況を示す写真や資料等			
			
■県による照明施設の整備			
			
■県による照明施設の整備(夜間)			

評価軸③-3 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
町道整備事業(楽山園周辺道路整備事業)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～令和元年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	楽山園及び御殿前通りの景観を阻害している電柱類等の移設、拡幅整備を行うことにより回遊性や利便性が高まっている内容 歴史的資源を繋ぐネットワークの向上が図られる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成25年度に御殿前通り等の電柱類を移設し、歴史性に配慮した照明施設を整備することにより、著しく景観の向上が図られた。 令和元年度については、実績なし。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	道路改良について、2期計画で実施予定。		
状況を示す写真や資料等			
			
■ 電柱移転整備前の状況(御殿前通り)			
			
■ 電柱移転整備後の状況(御殿前通り)			

評価軸③-4 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
高橋氏屋敷保存・修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26年度～令和元年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	高橋家は所有者の理解を得て一般公開しており、保存修理及び耐震改修を行うことで、武家屋敷群の充実化が図られるとともに、見学を目的とした来訪者の増加に期待できる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
実績なし。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	所有者が生活をしている屋敷でもあるため、所有者の理解を得ることが必要である。2期計画にて引き続き実施を予定している。		
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
旧甘楽社小幡組倉庫整備事業(旧小幡組製紙レンガ造り倉庫)			<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成27年度～令和元年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	建物の保存修理及び耐震改修を行うことで、歴史的建造物の保存・活用が推進されるとともに、あわせて駐車場の整備を行うことにより、見学を目的とした来訪者の増加が期待できる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
耐震改修について、調査を進める中で昭和60年に改修工事を行っていたことが判明したため、耐震改修は不要とした。また、隣接する施設の取り壊しにより用地を確保することができたため、駐車場整備についても不要とした。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	整備不要と判断した時点で計画の変更をするべきであった。		
状況を示す写真や資料等			
			
■ 歴史民俗資料館(周辺施設取り壊し前)			
			
■ 歴史民俗資料館(周辺施設取り壊し後)			

評価軸③-6 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
山田家の喰い違い郭整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成27年度～令和元年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	喰い違い郭は、所有者の理解を得て一般公開しており、保存修理を行うことで、武家屋敷群の充実化が図られるとともに、見学を目的とした来訪者の増加を期待できる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成29年度に事業が完了したため、令和元年度は実施なし。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	事業が完了した時点で計画を変更するべきであった。		
状況を示す写真や資料等			
			
<p>■山田家の喰い違い郭から続く石垣(改修後)</p>			

評価軸③-7 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
有賀茶店保存修理事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～令和元年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	有賀茶店は町屋地区にある伝統的な建造物群である養蚕農家群のまちなみの中にあり当該地区の歴史を知ることができる。所有者から借り受け一般公開を図り養蚕農家群の充実を図ることができる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成25年度に保存・修理を行い、商家であり養蚕農家である有賀茶店を一般公開することにより養蚕農家群の充実が図られた。 令和元年度については、実績なし。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	南側の店舗部分については、保存・修理ができていないため、2期計画で実施予定。		
状況を示す写真や資料等			
			
■有賀茶店整備前			
			
■有賀茶店整備後			

評価軸③-8
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
雄川堰整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～令和元年度

支援事業名 農山漁村地域整備交付金(地域用水環境整備事業)

計画に記載している内容 町の歴史的風致の中核をなす雄川堰(大堰)の石積み改修を行うことにより、雄川堰の保存・活用を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年度に続き、重点区域内の雄川堰の石積み・進入路橋の修繕を行い、景観の維持に努めた。
 概算総事業費 273百万円
 令和元年度までの事業費 161百万円(令和元年度事業費 60百万円)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	住民の洗い場等の修繕に寄せる期待は大きい。また、地元説明会等を通じて、雄川堰の資産価値を啓発していく必要性などの意見も寄せられている。雄川堰に架けられた橋の修復には、設置位置などを含め、景観に配慮したものとしていくため、住民との協議が大切となってくる。2期計画でも引き続き実施を予定している。

状況を示す写真や資料等



■事業着手前



■整備後



■事業着手前



■整備後

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
歴史まちづくり(歴史・文化・景観)講習会			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成22年度～令和元年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	町の文化財及び歴史等について講習会を開催し住民の啓発に努める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
講演会等の開催により住民の歴史・景観・文化財等に関する意識と、これらの資産・遺産を活かしたまちづくりへの関心が高まっている。令和元年度は、平成26年度重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定された町内在住・須田賢司氏の作品展を昨年度から引き続き開催し、一般見学者を対象としたギャラリートークが行われ、伝統工芸、重要無形文化財の意識啓発が図られた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	町の資産となる歴史的風致は、歴史的な建造物等による良好な景観のほか、伝統工芸品創作など人の営みや自然環境も含めて多岐分野に関わるため、今後、より多くの人々に認識してもらうためには、講演会や作品展のみならず、手法にとられない事業を展開していく必要がある。2期計画でも実施予定。		

状況を示す写真や資料等

町政の動き

11月4日

「木工藝 人間国宝 須田賢司の仕事」

展覧会



須田さん

町発足60周年を記念して、「木工藝 人間国宝 須田賢司の仕事」が11月4日から17日まで長岡今朝吉記念ギャラリーで開催されました。これは、重要無形文化財保持者(人間国宝)で名誉町民の須田賢司さん(小幡)の協力により開催されたものです。「御蔵島桑とシカモアの小箆」「桑の道」をはじめとした須田さんの作品12点と師である父須田桑翠・木工藝・外祖父・山口香哉・漆藝の作品が展示され、制作用具なども公開されました。また、代々受け継がれ、須田さんが所蔵する幕末・明治の時給唄「柴田是實の木版画『花くらべ』」が一堂に展示されました。

9日には、ギャラリートークが行われ、来場者約50人が作品づくりにかける須田さんの世界観と木工藝の技法やその表現について学び、伝統工芸、重要無形文化財への認識を深めました。



オープニングセレモニーでテープカットを行う関係者



作品の前で解説する須田さん(右)



柴田是實「花くらべ」展示室でのギャラリートーク

■人間国宝・作品展(町広報)開催期間: 令和元年11月4日～17日

評価軸③-10
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
歴史的まちなみ調査事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～令和元年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 重点区域内の町屋地区の養蚕農家を中心に歴史的まちなみ調査を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

甘楽町歴史的風致維持向上計画(第2期)を作成するにあたり、重点地区内の調査・聞き取りを行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

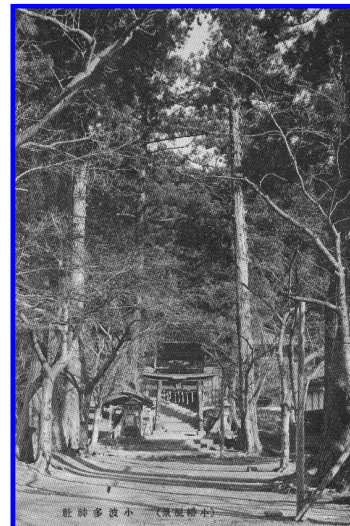
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

2期計画でも引き続き実施予定。

状況を示す写真や資料等



■18世紀中頃に建築されたとされる
旧小幡藩武家屋敷松浦氏屋敷



■正保2年(1645年)に小幡陣屋の鬼門封じとして
建てられた小波多神社(小幡八幡宮)
養蚕の神としても信仰されている(昭和14年撮影)



■養蚕道具の収蔵庫などとして利用された
下町組合事務所



■養蚕農家群が多く残る町屋地区



■農業倉庫等として利用された
旧甘楽社小幡組倉庫

評価軸③-11 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
案内板等整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～令和元年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(H27～R1:都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	歴史的建造物の周辺等、重点区域の主要な地点に案内板や情報板を設置することにより、住民や来訪者が建造物への理解を深めることができるとともに、散策ルートの設定等と併せ歴史的風致の拠点を巡る回遊性の高いネットワークの形成が図られる。このことにより多くの人が甘楽町の歴史的風致に対する認識を深め、歴史的風致の維持向上に寄与する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和元年度は、織田公公園内に説明板を設置した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	2期計画でも重点区域内に説明板の設置を予定しており、歴史的風致に対する認識を深めるため、引き続き整備を進めていく。		
状況を示す写真や資料等			
			
織田公公園内説明板			
			
■設置箇所			

評価軸③-12 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
名勝楽山園周辺修景整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成28年度～令和元年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	名勝楽山園周辺の景観保全のための修景整備を図るとともに、休息施設等の交流の場を設けることで来訪者との交流を推進し、他施設との回遊性の向上を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成30年度にて事業が完了したため、令和元年度は実施なし。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
<p>■名勝楽山園付近の便益施設等(H28、29年度整備)</p>			
			
<p>■名勝楽山園周辺に設置したベンチ(H30年度整備)</p>			

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
		現在の状況

文化財の保存・防災・防犯

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容
 文化財は、当町の歴史や文化を正しく理解するために必要なものであるとともに、地域の歴史や文化を発信するための貴重な資源である。このため、文化財を適切に保存しつつ、活用を図ることは重要なことであるため、積極的に推進する。
 甘楽町防災計画や総合計画を基本に、防災・防犯体制を整えるものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「国指定名勝楽山園消防計画」を策定(平成26年6月5日)したほか、消防団による文化財周辺の水利確認や夜間の警戒巡視による予防消防に努めると共に、有事の際に備えた地域防災訓練を町内で実施している。文化財近隣においては、自治会住民による消防援助隊も組織されており、地域全体で文化財を保存していく活動により住民意識の向上が図られた。その他、町では(毎年)1月26日の文化財防火デーに合わせて、文化財に関わる職員の防火訓練を実施し、防災意識の向上を図っている。また、地域で保管管理する重要無形民俗文化財の修繕、新調などの支援により、文化財の保護・継承にも成果を上げた。
 文化財を保管している主要施設については警備会社により厳重に管理し、職員との緊急の連絡体制も築いている。また、職員による定期的な見回りを実施し、文化財やその周辺状況を確認するとともに、所有者へも管理に対する注意喚起を行い、防犯意識の向上が図られた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	なし

状況を示す写真や資料等



■重要無形民俗文化財用具修繕(令和元年10月)
 「那須の獅子舞」



■消火訓練(令和2年1月27日) / 名勝楽山園にて
 消火器具の使用方法講習を受け、訓練に当たる住民と施設職員、楽山園友の会の皆様

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
			現在の状況
文化財の普及・啓発			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	<p>現在、ほとんどの指定文化財には、広く文化財に対する理解を得るため説明板を設置している。また、『甘楽町の文化財』などの啓発的な冊子を頒布して住民への周知を図っている。一般公開されていない指定文化財は、所有者と協議し、期間限定で公開するなどの従来行っていなかった方法を模索し活用を進めている。</p>		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>地域の財産である文化財を住民とともに守り継承するため住民ボランティアを募集し、研修を通じて啓発に努めた。また、町指定文化財に理解を深めてもらうため名勝楽山園の夜間特別公開などを実施。また、毎年11月3日に民俗芸能大会を開催し、古くから伝承されている重要無形民俗文化財の発表の場を設けている。なお、文化財の活用については、文化財ボランティア組織等と協力し文化財の一般公開を進めるとともに催事等においてもその舞台として積極的な利活用を図った。一般を対象に募集した文化財めぐりが好評であったほか、教職員文化財めぐりは、町内小中学校の教職員が生徒・児童に対して、町の歴史、文化を身近な教材として紹介できる様にする事で、普及活用できた。</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	なし		
状況を示す写真や資料等			
		<p>■名勝楽山園「御殿のお月見会」</p> <p>文化財理解を深めるため、夜間特別公開 (琴、篠笛の演奏会を開催)</p> <p>令和元年9月13日 入場者数 514人</p>	
		<p>■民俗芸能大会</p> <p>獅子舞、神楽舞など、10団体、210人が出演し伝統芸能を披露した。本大会が伝統芸能の保護、後継者育成による継承の場ともなっている。</p> <p>令和元年11月3日 入場者数 約1,400人</p>	
		<p>■教職員文化財めぐり</p> <p>甘楽町に新たに赴任してきた教職員を対象に文化財めぐりを実施。地域の貴重な文化財や歴史を授業教材として取り上げるための事業</p> <p>令和元年8月6日 参加者 15人</p>	

評価軸④-3 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
重点区域における伝統的建造物群保存地区制度の導入に向けた取組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	小幡・町屋地区の伝統的建造物が連なるところについては、早急に伝統的建造物群調査を行い、作成される保存計画に基づき、各種事業を導入し、計画的に保存を進めるものとする。同時に町独自の補助制度等を制定し、必要な支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
重点区域内においては、若い世代でも町屋地区の景観を形成する養蚕農家を修繕して残していきたい考えをもっており、ごく小規模な修繕であるが、景観に配慮した修復を自費で行った事例も見受けられた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	当初調査からの時間経過も考慮しながら、まち並み、建物の現地再調査などを行う必要があり、関係機関の指導のもと住民が主体となった体制を構築したうえで推進していかなければならない。地元代表者との打合せ、協議を行ったが、時間と慎重を要する面があり、当該地区における無電柱化や広告類などの景観整備、中央を北流する雄川堰の石積みや架橋の保存改修整備などを含め、地域住民との対話を基調として取り組んでいく。		
状況を示す写真や資料等			

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
光で染まる楽山園	H31.4.25	上毛新聞
3団体が伝統の舞 楽山園	R1.5.24	上毛新聞
30年ぶり舞、謡 宝積寺・菊女観音祭	R1.5.31	上毛新聞
着物で城下町 気ままに散歩	R1.6.6	上毛新聞
夕暮れの楽山園 風流なホテルを	R1.6.12	上毛新聞
時の話題	R1.8.7	上毛新聞
楽山園で至福の時間(読者投稿)	R1.8.26	上毛新聞
楽山園でお月見会 大名庭園に秋 虫の鳴き声響く	R1.9.14	上毛新聞
計画策定し堰を修復 群馬・甘楽町 農業用水路「雄川堰」	R1.10.11	全国農業新聞
国名勝・楽山園で消火訓練	R2.1.29	上毛新聞
優しい顔の2000体 きょうから甘楽の雛祭り	R2.2.29	上毛新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財の保存と活用、歴史まちづくり事業のアナウンスに関しては、報道による周知が効果的であるため積極的に情報発信した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	積極的に情報発信したことにより、報道等で取り上げられ歴史的風致に興味を持つ来訪者が増えた。今後は、観光案内ボランティア等の受け入れ態勢の強化・資質の向上を図るとともに必要に応じて研修会等を行う必要がある。

状況を示す写真や資料等



■ 平成31年4月25日 上毛新聞



■ 令和元年5月24日 上毛新聞



■ 令和元年5月31日 上毛新聞



■ 令和元年6月6日 上毛新聞

夕暮れの楽山園 風流なホテルを

甘楽 大名庭園のホテル観賞会
甘楽町の園指定名勝、楽山園で開かれ、家族連れらがホテルの涼しく優しい光を楽しんだ。甘楽観賞会は14、15日も開く。

普段は見る事ができない夕暮れ時の庭園で風流な景色を楽しんでもらおうと毎年実施し、今年で7回目。園内には灯籠約100個を並べた。担当者によると、今年度は急な暑さでホテルの発光が例年より早いという。

近くの道の駅甘楽では、観賞会に合わせて開駅8周年特別企画「ホテルの夕べ」を実施。軽食などを提供する。14、15日開催で午後9時まで。



令和元年6月12日 上毛新聞

甘楽町の小中学校に本年度 授賞式

甘楽町の小中学校に本年度の授賞式が行われ、児童生徒らに表彰状が贈られた。授賞式には、町教育委員会、町長、町教育長、町議会議員らが参加した。

授賞式には、町教育委員会の代表者が授状を贈った。授状には、町教育委員会の代表者が授状を贈った。授状には、町教育委員会の代表者が授状を贈った。

授状には、町教育委員会の代表者が授状を贈った。授状には、町教育委員会の代表者が授状を贈った。授状には、町教育委員会の代表者が授状を贈った。



令和元年8月7日 上毛新聞

楽山園で至福の時間

今夏、甘楽町の楽山園で至福の時間を過ごす。楽山園は、江戸時代の名勝で、園内には、池、石灯籠、茶室などがあり、静かな環境で、自然を満喫できる。園内には、池、石灯籠、茶室などがあり、静かな環境で、自然を満喫できる。

園内には、池、石灯籠、茶室などがあり、静かな環境で、自然を満喫できる。園内には、池、石灯籠、茶室などがあり、静かな環境で、自然を満喫できる。

園内には、池、石灯籠、茶室などがあり、静かな環境で、自然を満喫できる。園内には、池、石灯籠、茶室などがあり、静かな環境で、自然を満喫できる。

令和元年8月26日 上毛新聞

大名庭園に秋 虫の鳴き声響く

「御殿のお月見会」が13日夜、甘楽町の園指定名勝、楽山園で開かれ、来園者は趣深い日本庭園で虫の鳴き声を感じながら秋の夜を過ごした。園内には、池、石灯籠、茶室などがあり、静かな環境で、自然を満喫できる。

園内には、池、石灯籠、茶室などがあり、静かな環境で、自然を満喫できる。園内には、池、石灯籠、茶室などがあり、静かな環境で、自然を満喫できる。

園内には、池、石灯籠、茶室などがあり、静かな環境で、自然を満喫できる。園内には、池、石灯籠、茶室などがあり、静かな環境で、自然を満喫できる。



令和元年9月14日 上毛新聞

計画策定し堰を修復

群馬県楽野町は、江戸時代の歴史を持つ農業用水路「雄川堰」の修復計画を策定し、10年にわたる修復工事を進めている。堰は、雄川堰の歴史を伝える重要な文化財であり、修復により、地域の景観を美しく保ち、農業用水の確保を図る。

雄川堰の歴史を伝える重要な文化財であり、修復により、地域の景観を美しく保ち、農業用水の確保を図る。雄川堰の歴史を伝える重要な文化財であり、修復により、地域の景観を美しく保ち、農業用水の確保を図る。

雄川堰の歴史を伝える重要な文化財であり、修復により、地域の景観を美しく保ち、農業用水の確保を図る。雄川堰の歴史を伝える重要な文化財であり、修復により、地域の景観を美しく保ち、農業用水の確保を図る。



令和元年10月11日 全国農業新

国名勝・楽山園で消火訓練

「文化財防火デー」(26日)に伴う消火訓練が、国指定名勝の楽山園(甘楽町)で行われた。ボランティア団体、楽山園友の会ら約30人が防火訓練に参加した。消防署の職員が、楽山園内のガイダンス施設に設置されたハック型消火設備や消火器の性能、使い方を説明し、自分の命を大切に、常に逃げ道は思い描いてと呼び掛けた。

消防署の職員が、楽山園内のガイダンス施設に設置されたハック型消火設備や消火器の性能、使い方を説明し、自分の命を大切に、常に逃げ道は思い描いてと呼び掛けた。

消防署の職員が、楽山園内のガイダンス施設に設置されたハック型消火設備や消火器の性能、使い方を説明し、自分の命を大切に、常に逃げ道は思い描いてと呼び掛けた。



令和2年1月29日 上毛新聞

優しい顔の200体

「甘楽の雛祭り」が29日、甘楽町小幡の旧甘楽中学校舎などで始まる。町内外から寄贈されたひな人形約2000体が飾られ、優しい雰囲気を出している。4月12日まで。会場の一つになっている。

町内外から寄贈されたひな人形約2000体が飾られ、優しい雰囲気を出している。4月12日まで。会場の一つになっている。

町内外から寄贈されたひな人形約2000体が飾られ、優しい雰囲気を出している。4月12日まで。会場の一つになっている。



令和2年2月29日 上毛新聞

	評価対象年度	令和元年度
--	--------	-------

項目

施設整備後の活用と歴史文化啓発に関する事業

計画に記載している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

歴史的形成建造物をはじめとする施設整備・活用と「キラッとかんら観光キャンペーン」をはじめとする歴史・文化を基調としたイベント開催で来訪者数・施設利用者数も増加しており、甘楽町の魅力発信による認知度向上に寄与している。また、施設管理やイベントの実施における、ボランティア等の協力者数が増加している。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画の進捗に影響あり
□計画の進捗に影響なし

観光キャンペーンや各イベント実施にあたっては、住民や来訪者の声を反映させたものとしていく必要があり、意見徴収を継続して行っていく必要がある。

状況を示す写真や資料等



■雛人形展(令和2年2月29日～4月12日)



■昭和中期の町並み写真展
(歴史的風致形成建造物「有賀茶店蔵」)



■「楽山園友の会」(H24.7結成)ボランティア清掃

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和元年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 甘楽町歴史的風致維持向上計画推進協議会	
会議等の開催日時: 令和2年1月24日	
(コメントの概要)	
<p>・文化財を個別に保存、活用していくことも大事だが、地域全体で文化財を保存・継承していくという流れを作ること、今後は求められると考えられるため、個の文化財に固執せず、全体を見ながら事業を進めてほしい。</p> <p>・ハード整備により、施設での歴史を知ることができ、限定的なものだけを見る来訪者は増えると考えられる。しかし今後は、体験型や参加型の活動を地元と来訪者で行ったり、町を挙げて楽しむといった活動に目を向けた取り組みが必要ではないか。</p> <p>・回遊性については、少し弱いところを感じる。特に、歴史的建造物といった資源はあるのに、飲食店や土産屋等の商店が不足しているので、最初のきっかけを作ることが大事である。イベントなどで出店を作っていく、勧誘を一般化するような企画を具体的にしていくこと、継続して行っていくことが必要である。トータルで地域活性化につながり、最後は地域の方々の自慢や誇りがひとつの交流という形で展開していくことで、来訪者が関係を持ちたいという地域に育っていくのではないか。</p>	
(今後の対応方針)	
<p>町の歴史的風致の保存と普及のため、地域団体との連携強化を図りながら、情報発信や啓発事業に取り組んでいくとともに、周遊性の向上と良好な景観形成を図りながら整備を進めていく。また、交流人口の増加へ向けた取り組みとして、広域的な連携や産学官の連携を検討する。</p>	